

[事業紹介]

平成 28 年度文部科学省採択 “私立大学研究ブランディング事業”

福井工業大学 地域連携研究推進センター

本学の重点的な研究分野である『宇宙』と『地域貢献』を融合した大型プロジェクト研究“ふくい PHOENIX プロジェクト”が平成 28 年度に文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に採択され、平成 28 年度から 5 ヶ年計画で事業が遂行されています。

以下に、平成 28 年 12 月～平成 29 年 5 月までに実施した主な広報活動を報告します。

◆本学主催公開講座の開催

平成 28 年 12 月 17 日（土）、「あなたも宇宙に手が届く～福井に身近な宇宙とその展望～」と題し、公開講座を開催しました。外部講師として東北大学大学院工学研究科 特任准教授 坂本 祐二氏、HSK 東京コンサルティング代表 保坂武文氏、福井市自然史博物館 館長 坂 靖志氏をお招きし、講演並びにパネルディスカッションを行いました。



写真①（坂本氏講演）



写真②（パネルディスカッション）

◆駐日英国大使館との連携

平成 29 年 4 月 17 日（月）～19 日（水）の日程で駐日英国大使館科学技術部エネルギー＆先端技術担当の大野 真美子氏から取材を受けました。最初に、大野氏より「英国では、環境問題の観点から星空を守る保護活動が積極的に進められており、福井工業大学の“ふくい PHOENIX プロジェクト”と理念が一致している。」との挨拶があり、その後、本ブランディング事業を立ち上げた目的や活動内容についての紹介、宇宙に関する情報交換を行いました。なお、本取材内容は英国外務省広報誌にて特集される予定です。



写真①（インタビュー風景）

（左より
羽木教授、
中城教授、
大野氏、
森島学長、
池田副学長）



写真②（インタビュー風景）

（左より
大野氏、
青山教授）

◆宇宙産業振興に関する講演会の開催

平成29年5月26日（金）、自由民主党・総合政策研究所 坂本 規博特別研究員をお招きし、「宇宙産業の振興に向けた宇宙利用の拡大」と題し、講演会を開催しました。

講演では、宇宙利用産業の振興に、（１）宇宙データ利用の拡大が必要であり、（ア）データへのアクセス環境の改善、（イ）データ利用拠点の整備、（ウ）データ利用システムの国際展開が検討されている事に加え、（２）ロケットの新射場（アジア宇宙輸送センター）の整備が検討されている事などを説明され、衛星データだけでなく地上データ等と組み合わせて高次処理を施すことがビジネス化の鍵であることを話されました。



写真①（坂本氏）



写真②（講演会風景）

《本事業概要》

◆本事業の目的及び内容

『宇宙』を地域イメージに加え、観光文化・地域振興の実現を目的に、研究ブランディング事業を次の３つの研究軸（Ａ）、（Ｂ）、（Ｃ）に沿って推進しています。

- （Ａ）宇宙研究軸—10mパラボラアンテナなどを利用した衛星利用研究の推進、県内企業で製造された部材を搭載した超小型衛星開発、超小型衛星による軌道実証とハイパースペクトルカメラによる先進的な地域環境の観測
- （Ｂ）観光文化研究軸—県内の自治体や観光施設と連携し、宇宙を題材にした地域資源の発掘・深化を進め、観光・文化の振興に繋げて、交流人口増大や地域イメージアップへの発展
- （Ｃ）地域振興研究軸—研究成果を地域防災、宇宙関連産業の育成、精密農業などに応用展開するとともに、基盤技術の地域への普及と地域人材の育成